



議事堂に登場 「ハッピー・ハロウィーン！」～キッズ英会話教室のハロウィーン仮装行列（10月14日 撮影）



議会だより

No.196

2020年12月1日発行

【令和2年第3回定例会】



町ウェブサイト
「広尾町議会」
QRコード

予算はどう使われたか 令和元年度決算

2

一般質問（4人が登壇）

／キャンプ場／出産祝い金／核のごみ

11

議会モニター会議 議会運営に反映

14

総務常任委員会 学校教育現場の現状

16

○発行・編集／ 広尾町議会・議会広報特別委員会 E-mail g-gikai@town.hiroo.lg.jp

〒089-2692 北海道広尾郡広尾町西4条7丁目 TEL 01558-2-0180（議会直通） FAX 01558-2-2114

どう使われたか



令和2年 第3回 定例会

9/9~17

一般会計収入(歳入)合計 70億5059万円

自主財源	町税	9億6021万515円 (13.6%)	
	分担金・負担金	2億334万587円 (2.9%)	
	使用料・手数料	2億1011万5307円 (3.0%)	
	その他収入	8億7322万6828円 (12.4%)	
依存財源	地方交付税	33億9124万2000円 (48.1%)	
	国庫支出金 (国からもらうお金)	2億5947万7537円 (3.7%)	
	道支出金 (北海道からもらうお金)	3億835万7309円 (4.4%)	
	地方譲与税・交付金等	3億2558万1369円 (4.6%)	
	町債 (借金)	5億1904万2000円 (7.3%)	

令和元年度各会計収支(歳入・歳出)一覧

会計名	収入(歳入)	支出(歳出)
一般会計	70億5059万3452円	69億138万9311円
港湾管理特別会計	1億1382万2106円	1億1289万9503円
簡易水道事業特別会計	7369万3314円	7239万4630円
下水道事業特別会計	3億8783万1209円	3億8464万2013円
国民健康保険事業勘定特別会計	9億7561万6578円	9億7453万1902円
介護保険特別会計	6億9922万2826円	6億9630万7998円
介護サービス事業特別会計	2億4655万6427円	2億4583万6640円
後期高齢者医療特別会計	1億1342万5096円	1億1326万281円
病院事業債管理特別会計	8222万8896円	8222万8896円
水道事業会計	収益的収支	1億6430万4800円
	資本的収支	0円
		5508万3522円 ※1

※1 収支の不足分は、留保資金などでカバー(補てん)

令和2年第3回定例会は、9月9日(水)から17日(木)までの9日間の会期で開かれ、令和元年度決算認定(一般会計ほか9会計)のほか、条例の一部改正や令和2年度補正予算などが提案されました。広尾町まちづくり推進総合計画の策定については、議案審査特別委員会を設置し、付託のうえ閉会中の継続審査としたほかは、本会議・委員会での審議の結果、全議案を原案のとおり可決しました。

※議案審議結果は10ページに掲載

町民1人あたりに使われたお金

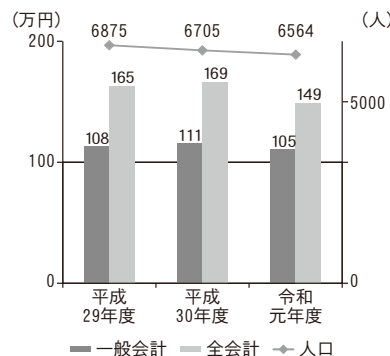
(一般会計)

約105万円

※特別会計等を含めると

約149万円

(注)3月末現在の住民基本台帳
人口6564人で計算したもの



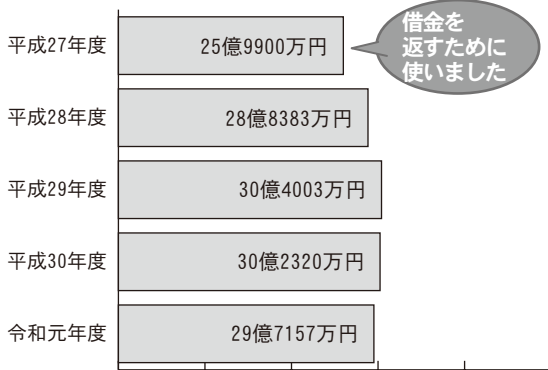
※議案審査特別委員会

特に必要と認める議案の審査を行うため、必要な時に議会の議決によって設置されるもの。

※付託

議決に先立って詳しく審査するため、委員会に審査を委託すること。

貯金（基金）残高の推移



借金（町債）残高の推移（全会計）



数字で見た広尾町の財政力

項目	H30	R 1
財政力指数 高いほど、毎年必要なお金を自力で調達できる。	0.229	0.234 ▲
経常収支比率 高いほど、自由に使えるお金が少なくなる。町村では75%以下が適正とされている。	91.2%	91.2% ←
実質公債費比率 高いほど、収入の多くを借金の返済に使うことになる。25%を超えると借金を制限される。	12.9%	14.5% ▲
将来負担比率 高いほど、将来の財政が圧迫される可能性が大きい。	71.8%	55.4% ▲

令和元年度 決算審査

予算は

一般会計支出（歳出）合計 69億138万円

議会費	8526万8646円 (1.2%)
総務費	7億2442万1754円 (10.5%)
民生費	15億3891万8154円 (22.3%)
衛生費	7億7173万157円 (11.2%)
農林水産業費	4億830万429円 (5.9%)
商工費	3億5346万3992円 (5.1%)
土木費	8億4951万3068円 (12.3%)
消防費	2億6954万9627円 (3.9%)
教育費	6億2720万9908円 (9.1%)
公債費（借金返済）	12億7301万3576円 (18.5%)

一般会計ほか9会計の令和元年度決算認定について、決算審査特別委員会（旗手恵子委員長）を設置し、9月15日、16日の2日間審査した結果、すべての会計を「認定すべきもの」と決定しました。その後、9月17日の本会議で討論・採決の結果、全会計の決算が認定されました。

※一般会計、国保事業勘定特別会計は起立による採決を行いました。（賛否の内訳はP10）

【一般会計決算の概要】

収入（歳入）合計額は70億5059万円（前年度比7.4%減）、支出（歳出）合計額は69億138万円（前年度比7.6%減）となりました。

収

入の48.1%を占める地方交付税は33億9124万円となりました。（前年度比2100万円の減）

町

税収入は前年度比2.2%増の9億6021万円となりました。徴収率は93.2%（昨年度92.6%）で、6782万円が未納となっています。

貯

金（基金）残高は合計で前年度比1.7%減の29億7157万円となりました。

借

金（町債）残高は合計で147億4528万円となり、前年度比5.9%の減となりました。



次のページは
「決算審査特別委員会」

づくりの成果は？

決算審査 特別委員会

9/9, 15, 16

委員長 旗手恵子

副委員長 山谷照夫

令和元年度決算についての質疑内容を抜粋、要約してお知らせします。

一般会計

まちづくり推進総合計画

問 来年度から始まる10年間の計画であるが、前回よりも委員を減らし、アンケートを全数調査から抽出調査としたが、5割程度の回収率である。町民の声を十分聴けたのか。

答 人口規模など様々な状況の変化や委員の人材確保も考慮し、増員せず20名の少数精鋭で計画策定をした。今回は、懇談会を開催し町民の意見を反映している。

災害時非常用電源

問 災害対策本部となる役場庁舎と福祉施設の整備状況は。



役場庁舎にある発電機

答 庁舎は発電機により72時間以上の電源を確保している。特別養護老人ホームは発電機を1台整備しており、養護老人ホームには今後整備する予定である。

移住体験

問 昨年度より滞在日数が少ないが、どのように周知しているのか。体験住宅利用の移住者がいないため、事業の見直しを考えては。

答 2月頃にホームページで周知したり、過去に利用した方には文書で案内しているが、3組6名の利用であった。今後、モニターツアーや就

業体験等の事業展開を検討している。

バス待合所環境整備

問 駐車場の舗装と芝生が整備されたが、維持管理はどうするのか。鉄道記念公園パークゴルフ場に隣接しているため、その維持管理に含める。

中川一朗記念館

問 展示物は毎年同じであり、解体を含め方針変更すべきでは。

答 町有施設として、今後も適切な維持管理をする。

滞納整理機構

問 近年収納率が下がってきており、町単独で徴収するべきでは。

答 14件引継ぎしたが、悪質者もいる。徴収の専門である滞納整理機構は、多角的なアプローチと抑止力があるため、継続する。

コミュニティ ソーシャルワーカー

問 高齢者が増え相談件数が増加しているが、その内容は。

答 介護・福祉制度や健康・医療、仕事に関することなど、地域における困りごとが多様化している。

保育士の配置

問 職場環境の整備が必要と思うが、保育士の不足による待機児童は何名か。

答 令和2年3月末は9名であったが、現在の待機児童はゼロである。保育士の募集は、ホームページや新聞への掲載、各学校に訪問するなど情報発信している。

いきいきドック

問 受診者数が25名と減少しているが、その要因と受診率を上げる今後の対策は。

答 新型コロナウイルスの影響などにより減少した。検診の必要性を説明して、町民が受けやすい体制を構築する。

四町広域宣伝協議会

問 海外向けPR活動の効果と言語の違いの対応は。

答 事務局がタイや台湾を訪れ、4町の受入れ体制をPRしている。台湾には旅行会社を含めパンフレットを置くなどPRしているが、今年は新型コロナウイルスの影響もあり成果は見えてない。英語を話せる事務局職員が交渉している。



タイからの視察を受け入れ観光PR (平成30年度)

1年間のまち



夜にはブーツの形をしたイルミネーションに

答 場所によって白や青、赤色を計画的に設置している。今後は、サンタランド入口のゲートやサンタの家、森林公園内にきれいに見えるよう設置する。

問 利便性の向上を図り、住民利用の周知が必要では。
答 登下校1時間以内の運行としているが、住民が利用しやすくなるよう検討し、制度の周知方法を考える。

スクールバス住民利用

問 国民健康保険特別会計

答 介護職員等の処遇改善を図るべきでは。
問 会計年度任用職員制度の1年前倒しや、個人面談を実施しており、職場環境の改善に努めている。

介護サービス特別会計

問 国民健康保険特別会計

答 該当者は2名である。納税相談や分納誓約等により、短期被保険者証に切り替える対応をする。

国民健康保険特別会計歳入歳出決算

反対 前崎 茂委員
平成30年度から国民健康保険運営の責任主体が、北海道に移行されたが、国保税が高いという課題は変わっていない。また、他保険制度にはない均等割額は、被保険者数が増えると増加し負担増となるため、本決算に反対する。

賛成 北藤利通委員
北海道が財政運営の責任主体となり、国保運営全般の中心になっている。本町は、保険給付や保健事業などきめ細かな事業を担い、町民の健康と福祉を守る重要な役割を果たしており、適正な会計処理がなされていることから、本決算に賛成する。

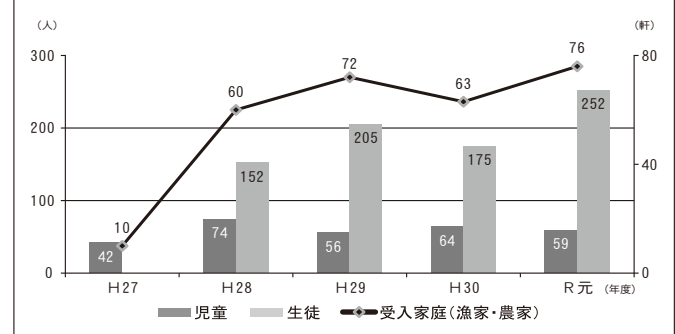
討論
※一般会計はP7に掲載

問 イルミネーション
高校生議会で「サンタランドに温かみを出しては」と提言があったが、今後の計画は。

問 教員住宅
住宅環境整備をどのように進めているのか。

問 国民健康保険特別会計
国民健康保険税滞納者の資格証明書発行状況は。

子ども農山漁村交流から始める「まち・ひとづくり」事業（農山漁村ホームステイ事業）
国のモデル事業として平成27年度に始まり、翌年度はホームステイ受入協議会を設立、高校生のホームステイも受入れたほか、学校給食への海産物の提供や事後交流など地方創生事業として本格実施をした。平成29年度以降は、使い道が明確な企業版や個人版ふるさと納税を財源に実施し、令和元年度までの受入児童生徒数は約1100人を数える。



※資格証明書
保険証の代わりに交付されるもので、医療機関窓口で医療費の全額を一旦支払わなければならない。後日、給付割合相当分の払戻し申請ができるもの。
※短期被保険者証
有効期間が通常より短い保険証のこと。



まちづくり

10年後のめざす姿は



特別委員会を設置
将来を見据えた議論を

令和2年
第3回
定例会
9/9～17

将来像

海・山・川が織りなす、
希望が灯るサンタランド・
ひろお



第6次広尾町まちづくり推進総合計画（令和3年度から12年度まで）の「基本構想」「基本計画」の提案がありました。

まちのめざす将来像を実現するため、5つの基本目標が設定され、12の政策、各分野における具

体的な取り組みを示す基本計画、実行するための実施計画を審査することから、第3回定例会初日（9月9日）に議長を除く全議員で構成する「議案審査特別委員会」（浜頭勝委員長、北藤利通副委員長）を設置しました。

重点プロジェクトに2億円
10年間の総額は約402億円

基本構想～まちが10年間でめざす将来像と、それを実現するための基本目標を示している。
基本計画～基本構想に基づき、10年後のめざす姿や目標達成のための具体的な方法、人口減少や地方創生に関わる8つの「重点プロジェクト」を前期5年間に定めている。
実施計画～優先度や実効性を考慮し、具体的な事業内容や事業費を前期5年・後期5年で示している。（重点プロジェクト9事業を含め、全199事業の計画）

【基本構想】

- ＜基本目標1＞
豊かな自然を生かした活力ある産業のまちづくり
- ＜基本目標2＞
住み慣れた地域で安心して暮らせる支え合いのまちづくり
- ＜基本目標3＞
豊かな心を育み文化を高めるまちづくり
- ＜基本目標4＞
住みやすさが感じられるまちづくり
- ＜基本目標5＞
次世代に引き継ぐことができるまちづくり

【基本計画】（重点プロジェクト）

- ①広尾の魅力発信プロジェクト
“広尾の魅力や情報が集まる拠点の創出”
- ②「広尾の食資源」開発、伝承プロジェクト
“新たな魅力の創出と今あるものの魅力の再発見”
- ③「サンタランド」の魅力向上プロジェクト
“ここにしかない「サンタランド」の魅力に磨きをかける”
- ④ひろお子育て力向上プロジェクト
“地域みんながお父さん、お母さん”
- ⑤自分大好きプロジェクト
“関わり、交わり、認めて、育てる、地域の宝”
- ⑥「賑わいと健康」創出プロジェクト
“豊かな自然の中で、健康増進と体験型観光を楽しむ！”
- ⑦買い物利便性向上プロジェクト
“誰もが町内で買い物しやすい環境をつくる”
- ⑧空き家再生プロジェクト
“空き家を徹底的に活用し、人が集まる場をつくる”

令和元年度決算を認定

討論（一般会計歳入歳出決算）

反対

**交流事業
見直しを**

前崎 茂議員

子ども農山漁村交流事業の費用負担は個人がすべきと考え、ふるさと納税は広尾町民が活用できるシステムの見直しが必要である。また、政治家記念館の運営を見直すべきと考え、本決算に反対する。

賛成

**地域医療
体制強化**

北藤利通議員

産業振興をはじめとする活力あるまちづくりの展開や健康予防、地域医療体制強化のため、国保病院の独法化をスタートしている。また、財政運営も健全化の努力を認め、本決算に賛成する。

反対

**事業転換
をすべき**

小田雅二議員

ふるさと納税が財源の子ども農山漁村交流事業の目的や効果は理解するが、町の予算は町民に使われるべきであり、同様の事業を広尾町の子どもの達にも実施すべきと考え、本決算に反対する。

賛成

**関係人口
の拡大に**

浜野 隆議員

子ども農山漁村交流事業は、寄附金の使い道を明確にし、寄附者の意向に沿った事業執行をしており、荒川区との地域ぐるみの活動が将来の移住や定住につながるものと考え、本決算に賛成する。

令和2年度 補正予算の内訳

一般会計⑨	84億7398万円	5億1641万円	増
港湾管理特別会計②	1億2945万円	1865万円	増
簡易水道事業特別会計③	1億3050万円	52万円	増
下水道事業特別会計③	5億2772万円	34万円	減
国保事業勘定特別会計③	9億9475万円	145万円	増
介護保険特別会計④	6億9800万円	111万円	増
介護サービス事業特別会計④	2億9749万円	123万円	増
後期高齢者医療特別会計①	1億2120万円		※増減なし
病院事業債管理特別会計②	2億2787万円	2万円	減

※会計名の後の丸数字は補正回数

(1万円未満切り捨て)

地方独立行政法人広尾町国民健康保険病院

令和元年度における業務実績に関する評価結果

〔全体の評価結果〕

「中期計画の実現に向けて計画どおり順調に進捗している」

評価結果

- 第1 町民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標の達成 ⇒ A
- 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標の達成 ⇒ C
- 第3 財務内容の改善に関する目標の達成 ⇒ A
- 第4 その他業務運営に関する重要事項の達成 ⇒ A

その他決まったこと

- ◎教育委員の任命に同意しました。
齊藤 一也さん（新任）任期：令和2年10月1日から4年間
- ◎法改正による個人番号の通知カード廃止に伴い、再交付手数料を削除する改正をしました。
- ◎広尾町が加入する各組合の一部の構成団体が脱退したことにより規約を変更しました。（3組合）
- ◎国のGIGAスクール構想を実現するため、各小中学校に整備するタブレットパソコン419台を2233万円で財産取得する議決をしました。
- ◎図書館システム導入に伴うシステム機器を1256万6840円で財産取得する議決をしました。（契約金額3377万円）
- ◎特別養護老人ホーム見守り付コールシステム導入に伴う見守り付コールシステム機器を1619万3091円で財産取得する議決をしました。（契約金額1805万9791円）
- ◎港湾用地2306㎡を売却しました。
【売却価格】1773万3140円
【売却相手方】池下産業株式会社（字茂寄）

- ◎鳥獣による農林水産業被害防止のため、ハンタースクールの運営に以下財産を無償貸付することとなりました。ただし、収益性等を認めるときは、有償貸付に変更。
【無償貸付財産】（土地）公衆用道路、原野 5720㎡
（建物）旧野塚保育所 271.75㎡ など
【無償貸付相手方】 ジュラテクノロジー株式会社（大樹町）
【無償貸付期間】 令和2年10月1日から令和4年3月31日（自動更新あり）
- ◎新規就農者の受け入れ要件を緩和し、就農者の確保ときめ細かな施策を実施するため、関係条例の改正をしました。
＜主な改正点＞
①就農者の年齢を50歳までとし、家族経営協定又は共同経営者を有する者
②営農開始から5年間は、賃借料の2分の1の奨励金を交付
③就農者に対する財政支援の上限額、1経営体につき250万円

※評価方法は、法人化を契機とした病院改革の取組などを考慮し、法の規定等に基づき、年度計画及び中期計画等の進捗状況を評価
S～特筆すべき進捗状況にある A～計画どおりに進んでいる
B～おおむね計画どおりに進んでいる C～やや遅れている
D～重大な改善すべき事項がある

次のページは「意見書・行政報告」

意見書4件を可決 国等へ提出

※内容は要約しています。

① 種苗法改正案の慎重な審議を求める意見書

提出者 浜野 隆議員

主要農作物種子法が廃止され、「種苗法の一部改正案」が提出された。種苗法の改正は、北海道の農業生産に大きく係る案件であり、わが国の優良品種の海外流出を法的に規制することは極めて重要である。

一方で、品種開発者の育成者権利を高め、自家増殖を許諾制へと見直すことにより、農業者の自家増殖の権利が弱められ、新たな費用負担が生じるなど課題が山積している。優良種子の安定確保・安価供給の継続に向けた公的機関における農産物種子の研究・開発の維持と



利益優先による種子代の高騰にも発展しかねない

② 子どもの医療費助成制度の拡充を求める意見書

提出者 旗手恵子議員

地方財政措置の位置づけを強化することが不可欠であるため、次のとおり要望する。

① 農業者が将来にわたり安心して作付けできる環境の整備。② 従来行っている地方財政措置を改正法案に盛り込むこと。③ 優良な国産農産物の種子の海外流出を防止するため万全な対策と制度の構築。

① 農業者が将来にわたり安心して作付けできる環境の整備。② 従来行っている地方財政措置を改正法案に盛り込むこと。③ 優良な国産農産物の種子の海外流出を防止するため万全な対策と制度の構築。

③ 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

提出者 浜頭 勝議員

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避けがたいが、地方自治体は、福祉、医療、子育て、防災、雇用対策など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、

かつてない厳しい状況が予想される。よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、次のことを確実に実現されるよう、強く要望する。

① 地方税、地方交付税等の一般財源の確保及び臨時財政対策債の償還財源の確保。② 地方税収の万全な減収補填措置及び減収補填債の対象税目の弾力的対応。③ 安定した地

方税体系の構築。国税・地方税の政策税制の新設・拡充・継続は、有効性・緊急性等を厳格に判断すること。④ 固定資産税制の見直しは、家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。また、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策での特例措置は、期限の到来をもって確実に終了すること。

④ 国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

提出者 浜頭 勝議員

新型コロナウイルス感染症の影響により幅広い分野で大きな打撃を受けている北海道は、感染抑制の取組と経済活動との両立を図り、復興に向けて生産性の向上に資する高規格幹線道路ネットワークの早期形成や機能向上が必要不可欠である。

よって、国においては、より一層の道路整備の推進や管理の充実・強化が図られるよう、次の事項について強く要望する。

提出先
衆議院・参議院議長、総務大臣、③④、内閣総理大臣、財務大臣、①③④、農林水産大臣、①、内閣官房長官、厚生労働大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣、③、国土交通大臣、国土強靱化担当大臣、④、北海道知事、②



村瀬町長からの

行政報告

※内容は要約しています。

広尾町福祉・医療施設等新型コロナウイルス感染症対策支援金

町民の健康、生命を預かる福祉・医療施設は、より一層、感染防止への取組が求められることから、施設内の消毒など感染防止対策に要する費用の一部を助成し、町内での感染防止を目的とした「広尾町福祉・医療施設等新型コロナウイルス感染症対策支援金」を創設した。



10月開設の子育て世代包括支援センター（健康管理センター内）

かな相談支援を行うことにより、地域の子育て世帯の安心を醸成する。健康管理センターと役場保健福祉課子育て支援室に相談窓口としての看板を掲示し、対応する。

広尾町子育て世代包括支援センターの開設

妊娠から子育て期にわたる支援を切れ目なく提供するように国の法制化を受け、本町も10月の開設に向け準備を進めている。子育て支援室の保健師などが兼務し、きめ細

腎臓機能障害者通院送迎サービス事業の実施

町は人工透析治療を受けている方に通院にかかる交通費を助成しているが、高齢などの理由で車の運転や、バス停でバスを待つことが困難であるなど、経済的助成だけではサポートしきれない事例が生じている。

さらに、本町の人工透析患者数が増加傾向にあることから、10月から「腎臓機能障害者通院送迎サービス事業」を実施する。

町内のタクシー業者と連携し、町が大型タクシーにより、大樹町の森クリニックまで定期的な送迎サービスを提供することで、通院における身体的、経済的な負担の軽減を図る。

特別定額給付金事業の実施結果

最終的な給付対象世帯3317世帯のうち、3305世帯から申請があり、申請率は99・6%となった。申請方法は、オンライン申請48件、郵送申請が3257件であった。文書や訪問などで申請を呼びかけたが、12世帯が未申請となり、内訳は、申請なしが6世帯6人、給付金辞退が2世帯3人、対象者死亡が2世帯2人、申請書未達が2世帯2人。

給付状況として、6603人分、6億6030万円を給付し、給付率は99・8%。新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として家計への支援を果たせた結果となった。

人工透析患者数の推移

平成29年度	16人
平成30年度	18人
平成31(令和元)年度	24人
令和2年8月末	25人

普通交付税の決定

令和2年度の普通交付税決定額は、31億9210万9000円となり、前年度と比べて6347



今年から新たに設置されたメインツリー

工事請負契約の締結

楽古地区配水管改良工事を有限会社田中建設(丸山通北7)と契約した。契約額3949万円、工期は令和3年1月29日まで。

広尾サンタランドツリー点灯式

来場者の密集を避けることが困難なため、従来どおりの点灯式を取りやめ、自宅などでも楽しめるようインターネットを利用した動画配信を計画している。その際には、イルミネーション点灯中継のほか、保育園児の合唱や町内の風景などの内容を検討している。

養護老人ホームにおける介護中の事故

8月22日に養護老人ホーム入所者の居室において、介護中に事故が発生した。今後、入所者が安全に安心して暮らせるよう施設職員に再発防止対策を図るよう指導する。

ひろお毛がにまつり

来場者の密集を避けることが困難なため、観光協会が協議した結果、広尾町の特産品が楽しめる代替イベントを検討している。

令和2年 第3回定例会 議案審議結果

●賛否のあった議案（議案名は一部省略しています）

賛：賛成 否：反対 欠：欠席

議案名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	議決結果
	松田健司	浜野隆	萬亀山ちさ子	前崎茂	北藤利通	志村國昭	星加廣保	山谷昭夫	渡辺富久馬	小田雅二	旗手恵子	浜頭勝	堀田成郎	
令和元年度一般会計決算認定	賛	賛	賛	否	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	—	認定(9-3)
令和元年度国保事業勘定特別会計決算認定	賛	賛	賛	否	賛	賛	賛	賛	賛	否	否	賛	—	認定(9-3)

※全会一致した議案の掲載は省略しています。

※堀田議員は議長のため、採決には加わりません。

議員の会議等出欠状況をお知らせします

(令和2年6月定例会終了後～令和2年9月定例会まで)

(1) 定例会・臨時会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	松田	浜野	萬亀山	前崎	北藤	志村	星加	山谷	渡辺	小田	旗手	浜頭	堀田
7/15	第4回臨時会(補正予算など)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8/5	第5回臨時会(補正予算など)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/9	第3回定例会(条例改正など)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/10	第3回定例会(一般質問)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/17	第3回定例会(決算認定、意見書など)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
開催日数計		5日	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

(2) 委員会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 —：所属外

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	松田	浜野	萬亀山	前崎	北藤	志村	星加	山谷	渡辺	小田	旗手	浜頭	堀田
7/28	第3回総務常任委員会		○	—	—	—	○	○	○	—	—	遅	○	—	○
8/6	議会広報編集会議		○	○	○	—	—	—	—	—	—	遅	○	○	—
8/18	第4回議会広報特別委員会		○	○	○	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○
8/18	第2回産業常任委員会		—	○	○	○	—	—	—	○	○	—	—	○	○
8/19	第5回議会運営委員会		—	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—	○	○
9/4	第6回議会運営委員会		—	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—	○	○
9/9	決算審査特別委員会(正副委員長互選)		○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	—
9/9	議案審査特別委員会(正副委員長互選)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
9/15	決算審査特別委員会		○	○	○	○	○	—	×	○	○	○	○	○	—
9/16	決算審査特別委員会		○	○	○	○	○	—	早	○	○	○	○	○	—
9/17	議会広報編集会議		○	○	○	—	—	—	—	—	—	○	○	○	—

※堀田議員は議長のため、各委員会に所属していませんが、オブザーバーとして出席しています。
 ※副議長の浜頭議員は、議会運営委員会にオブザーバーとして出席しています。
 ※決算審査特別委員会は議長、議選監査委員を除く議員で構成されています。

(3) 議員協議会・研修・その他

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 —：対象外

開催日	開催会議名・主な内容	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	松田	浜野	萬亀山	前崎	北藤	志村	星加	山谷	渡辺	小田	旗手	浜頭	堀田
7/15	第4回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8/5	第5回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9/9	第6回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	早	○	○	○
9/17	第7回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	早	○	○	○	○

ズバリ 町政を問う 一般質問

一般質問とは・・・

議員が定例会で町長などに執行機関の考え方について、報告や説明を求めたり、疑問をたずねることで、広尾町議会では1回目が一括質問方式、2回目以降は一問一答方式となっています。

※議会日よりでは、内容を要約して掲載しています。

9月定例会では、4人の議員が一般質問を行いました。



広尾サンタランドマスコットキャラクター「さーたちゃん」

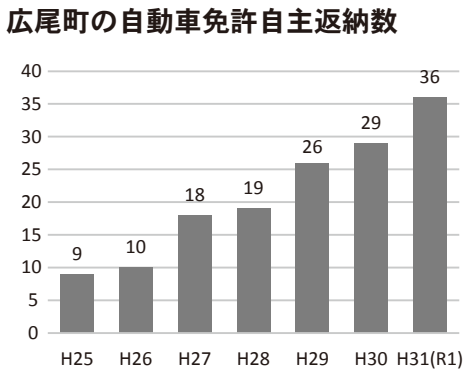
●一般質問 項目一覧

前崎 茂議員	町独自のサポカー補助制度導入を	P 11
	キャンプ場を整備して町の活性化を	P 12
旗手恵子議員	高校生医療費無料化と出産祝い金の増は	

松田健司議員	コロナ罹患発生時の町の対応は	P 13
小田雅二議員	道内の核のごみ問題どう考える	
		災害の再検証で住民意識の高揚を図るべき

質問 2018年の免許人口10万人当たりの死亡事故件数で、75歳未満が3・7件に対し、75歳以上は8・2件、80歳以上は11・1件と高齢運転者のペダル踏み間違いによる交通事故の頻発を受け、政府は「サポカー補助制度」を導入した。また、中札内村では今年度から高齢者を対象に安全運転支援装置が搭載された自動車の購入や、所有する自動車へ同装置を後付けする際の費用に対し、補助制度を始めた。本町も導入を図るべきかと思うが。

答弁 村瀬町長 国の制度は、安全対策装備をしたサポカーを65歳以上の方が購入、または後付けする際、新車の購入で最大10万円の補助などを行うもので、サポカーの普及に一定の効果がある。中札内村が国と同じ枠組みで同額の補助金を上乗せ給付する制度を始めたが、市町村でのサポカー補助制度の導入は全国的に見ても多くはない。60歳以上の方が運転免許証を自主返納すると、身分証明書の代わりとなる運転経歴証明書の発行が可能だ



町独自のサポカー補助制度導入を
町長 他の取組で事故減少に努める

キャンプ場を整備して町の活性化を

教育長 運営を続けるか、やめるか検討中



1億円の事業費で新設されたキャンプ場トイレ

質問

近年のアウトドアブームで道内では8か所のキャンプ場が新設され、中札内村のキャンプ場では移動式のモバイルハウス3棟を新設、芽室町の新嵐山では昼食付の日帰りキャンプや[※]グランピング等で利用者が増加している。

本町は、平成6年度に1億5千万円の事業費で炊事場とトイレを新設したが、その後ほとんど整備されずに老朽化している。「海や川が近く、虫も少なく人気がある」と教育者の声もある。本町の昨年度の人口は約3.3%減少しており、

交流人口、関係人口を増やすためにもキャンプ場の整備が必要では。

答弁 菅原教育長

今年度は、新型コロナウイルスをもち込まないことを重視し、運営を取りやめた。整備として、テントサイトは直営で、ファミリーキャビンは町内事業者に解体工事を発注し、老朽化した危険な設備をそれぞれ撤去した。今後の整備計画は、第6次まちづくり推進総合計画の中でも方向性を定めるとしている。収入がない中、多額の整備費と維持費をかけて運営を継続すべきか考えなければならない。民間企業が運営を受けないこともあり、運営を続けるか、やめるかの二者択一しかなく、現在、町部局を含め内部での検討を続けている。

はたて 旗手恵子 議員



質問

第6次まちづくり推進総合計画案の目標に「日本で一番安心して、子どもを産み育てられるまちをめざす」とある。また、町民アンケートでは、今後の「少子化対策で大切だと思うこと」の第1位は、「経済的支援の充実」がダントツ1位である。人口減少率が管内で最も高い本町が人口減少を止めるには、子育て支援は欠かせない課題であり、次の具体化を示していただきたい。

①高校卒業まで医療費無料化をしている市町村は管内で9町村に増えており、本町も早急に実施すべきでは。
②出産祝い金支給事業の計画案は、第1子、第2子が5万円、第3子以降は10万円支給とあるが、管内でもそれを上回る助成をしており、再考が必要では。

高校生医療費無料化と 出産祝い金の増は

町長

無料化拡大は困難 出産祝い金を創設

降は10万円支給とあるが、管内でもそれを上回る助成をしており、再考が必要では。で有効な施策の一つであり、町民が安心して子どもを産み育てられる町としての認識が高まり、少子化対策への効果も期待できるものと判断した。

答弁 村瀬町長

①高校生まで医療費無料化は、十勝圏活性化推進期成会から国に對し、補助制度の創設を要望している。本町としては、早期の無料化拡大は困難と考えているが、子育ての重要な課題として承知をしている。
②第6次まちづくり推進総合計画案の前期5年で重点的に取り組むものとして出産祝い金制度の創設を掲げた。子育て支援の充実を図る上



子育て支援の充実した政策を



※グランピング
グラマラス（魅力的な）とキャンピングを合わせた造語。
テント設営や食事の用意等があらかじめ準備されており、初心者でも気軽に楽しむことができるもの。

まつだ 松田健司 議員



コロナ罹患者発生時の町の対応は

町長 罹患者の個人情報も町でも把握できない

質問

これから冬を迎えるにあたって

新型コロナウイルスの感染拡大やインフルエンザの同時流行も懸念されている中、新型コロナウイルス罹患者が町内で発生した場合の行政の対応を、個人宅での発生と、公共施設での発生とに分けて説明願いたい。

また、新型コロナウイルス罹患者への誹謗中傷、関係各所への風評被害によって広尾町に住みづらくなる町民を一人も出さないという「強い意気込み」を持った啓発等の取り組みが必要だと思つが、町長の考えを聞かせていただきたい。

答弁 村瀬町長

検査で陽性が確認された場合、感染症法第16条第2項で「情報を公表するに当たっては、個人情報保護に留意しなければならぬ」とされているため、保健所は、感染者に居住地や年代、性別などの公表について同意

情報も町へは提供されない。

感染者等への誹謗中傷に対する人権への配慮は、広報等での呼びかけや、老人クラブ等を対象とした健康教育で周知するほか、小学校でも文部科学省の通知に基づき差別や偏見をなくす取組が行われている。

の有無を確認し、同意した項目のみ公表する。そのため、町内で感染が確認されても感染者が公表に同意しない場合は、保健所から町に対する情報提供はなく、公衆衛生上の必要性から町内で感染者が確認されたという情報との連絡がある。また、濃厚接触者の



健康教育等で人権への配慮を呼びかけている

道内の核のごみ問題 どう考える



おだ 小田雅二 議員

町長 本町は反対の表明 世論をつくりながら阻止

質問

寿都町がいきなり第一段階の文

献調査に応募すると表明し、北海道全体としても物議を醸すこととなった放射性廃棄物処理場の問題だが、これを誘致しようとする自治体がこの同じ北海道にある以上、広尾町は、とりわけ首長としてどのように考えるか。近隣の市町村や広尾町も含めた他の自治体の意思はどこにも反映されないのか、また、町村会等で話し合われていないのか、町長の思いや考えを伺う。

答弁 村瀬町長

経済産業省は、核のごみ最終処分場の候補地選定を進めるため、道内86市町村を含む最適地を科学的特性マップで公表した。本町もこの中に含まれていたが、放射能レベルが十分低くなるまで数万年以上にわたり人々の生活環境から遠ざけて管理する必要があり、不必要な核のごみの最終処分場の選定に向けた文献調査への応募は、検討したこともなく、全く考えていない。



先日、北海道新聞が道内の各市町村にアンケート調査を行ったところ、賛成者はゼロであり、本町も反対を表明した。当事者の町と道知事だけの問題ではなく、全道の市町村の大きな問題であり、横の連携や町村会などを通して、世論をつくりながら阻止していくことが必要と思つている。

次のページは「一般質問」『災害対応検証』『モニター会議・議会基本条例』

災害の再検証で 住民意識の高揚を図るべき

町長 方法を検討したい

質問

岩手県宮古市では明治、昭和と過去に何度も三陸津波の被害を受けているため、先人からの遺訓として「此処より下に家を建てな」という石碑があり、2011年の東日本大震災でも話題となった。

気候変動等さまざまな要因から自然災害の発生は増加の一途で、広尾町でも過去には考えられないような風水害を経験しており、次の世代へ渡すべき実証的なものを作り残すべきである。

毎夏の役場ロビーでの原爆展のような形で、町内での過去の被害の写真等を収集し展示することで、一層の警戒心を持続できるようにすべきと思うが。

答弁 村瀬町長

本町において、降雨量が349.5ミリに達した平成10年9月の豪雨は、床上・床下浸水の住宅被害が92件発生し、農業被害、土木被害などで総額約9億7500万円にも及んでいる。このほか、平成19年9月に274ミリ、平成24年5月には281ミリで、300ミリに迫る降雨量の大雨を経験している。

地球温暖化が続いている昨今の気象状況から、本町も過去に例を見ないゲリラ豪雨、線状降水帯の発生が十分に考えられる。

過去の災害をまとめて、閲覧できることは住民が把握できると思う。どういう状況でどういった検証ができるか、これから検討し、形にしたいと思っています。



過去の災害から、防災意識を高めることが大切

議会運営に反映

～議会モニター会議を開催～

9/29

モニターからの 意見を

議会モニター4人、議員7人が出席して、議会の傍聴の感想や議会運営、議員活動について要望や意見を交換しました。

なお、現在のモニターは12人（石原由紀江さん、會川英二さん、大庭ひとみさん、菊地亜希さん、上野雅彦さん、飯島良子さん、宮原こゆきさん、小柳かおりさん、菅原恵子さん、鈴木珠世さん、榊信也さん、頼田光明さん）で、任期は令和3年5月31日までです。

議会基本条例の 検証・評価

大庭 他町村の議会は雰囲気違うため、議員も傍聴すると勉強になると思う。

議会 議会の開会が重複することもあるが、議会基本条例を制定する時に、先進地の議会を傍聴したことがある。

宮原 他議会との交流・連携で得たものは何か。南十勝町村との交流は、幕別町発祥のパイ

クゴルフを推進・普及するため実施し、親睦を深めてきた。今年は、講師を招へいし研修する。

鈴木 課題が山積しているため、議員には町民の意見を聞き、活発な一般質問をしてほしい。

議会 議会の評価は「△」である。大きな課題であり、一般質問を活発にするよう、議員間で話し合う。

議会の傍聴

大庭 一般質問を傍聴したいため、日程が早くわかると、予定を入れやすい。

議会 日程等は、議会運営委員会ですら正式に決定するため、その後の周知となる。

宮原 午後傍聴に行っていたと聞いた。1階入り口で「終了しました」と周知してほしい。

事務局 議事進行（提案・説明・質疑など）を想定し、日程を組んでいる。周知方法を検討する。

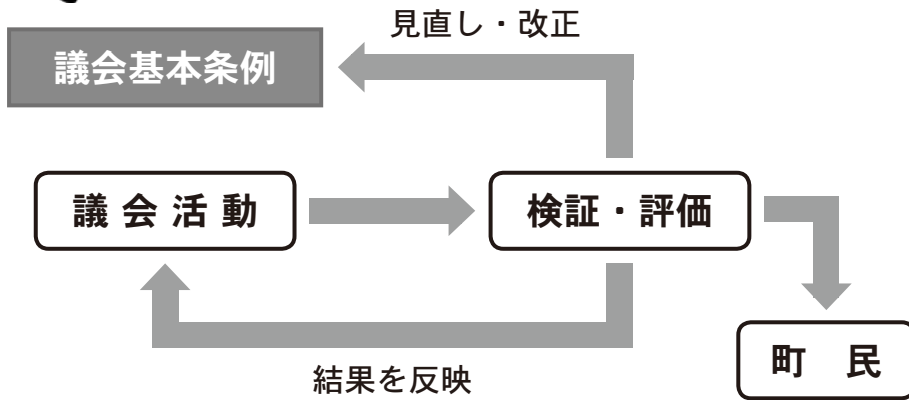
※「議会基本条例」の評価

P15に検証と評価を図解しています。概ね達成できた「◎」、達成できた「○」、あまり達成できなかった「△」、達成できていない「×」の4段階で評価しています。評価結果の詳細は、町ウェブサイトに掲載しています。





議会基本条例の検証・評価を実施



「議会基本条例」に基づき行う議会活動の内容（活動できたか、できなかったか。どのように活動したか）について議会は検証・評価を行い、その結果を翌年以降の活動に反映させていく必要があることから、令和元年の活動について、検証・評価を実施しました。

議会基本条例 検証・評価の実施方法

《一次評価》

議員による評価

評価シートにより、全員で行う。評価は4段階で理由も記載。

《二次評価》

議会運営委員会による評価

議員の評価を基に評価を4段階で行う。評価の理由、今後の課題、改善策を記載。

《最終評価》

議会による評価

二次評価を基に、議員協議会で議会としての最終評価を決定。

評価実施後の取り組み

- ①議会として決定した「今後の課題及び改善策」について検討を行い、翌年以降の取り組みに反映させていく。必要があれば条例、規則等の改正を行う。
- ②検証・評価内容について、議会広報、議会報告会などで町民へ公表する。

評価結果の詳細は、
広尾町ホームページに掲載しています。



町ウェブサイト
「広尾町議会改革」
【QRコード】

議会

11月に「広尾町まちづくり推進

は議論しないのか。

とあつたが、議会で

宮原 空き店舗等の活用案

の町長答弁で、

事務局 出れないか伝える。

便な周知方法が

と電話番号を周知す

ることは可能と思

記があるとい

菅原 「コロナ禍で高熱が出

た時、どこに連絡す

るべきかわかりやすい表

議事 新型コロナ流行期に

町広報紙に電話番号

が掲載されていた。色紙を

使用し、大きな文字で連絡先



総合計画」の審査を予定している。また、将来に向けた方針等について、一般質問をすることもできる。

鈴木 広尾町の将来について、子どもはどう説明をしたらよいか、未来像を感じるヒントがあれば。

議会 町外に出た子どもが、広尾の未来を考え、戻りたいと思えるように、議会も行政も考えていく必要がある。まちづくりは、町で計画するが、そこに住む町民全員が考えないといけない。SDGs（持続可能な開発目標）の研修が出来ればと考える。

その他

議会だより



次のページは「常任委員会」

考えた!



総務常任委員会

委員長 旗手恵子 副委員長 北藤利通

調査日 令和2年7月28日

の現状 所管事務調査

学校教育現場の現状

ギガスクール構想の実現に向けて

各学校の情報インフラの現状

	パソコン・タブレット端末
広尾中	タブレット端末18台、ノート型パソコン36台、デスクトップ型パソコン41台、無線LAN子機36台
広尾小	タブレット端末8台、ノート型パソコン66台、デスクトップ型パソコン1台、無線LAN子機38台、液晶モニター1台
豊似小	タブレット端末3台、ノート型パソコン28台、デスクトップ型パソコン1台、無線LAN子機13台

情報インフラ

教育におけるICTを基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められる一方で、現在の学校ICT環境整備は遅れている。令和時代のスタンダードな学校像として、全国一律のICT環境整備が急務である。

本町の各学校での情報インフラの現状は左の表のとおり。1クラス全員で使うと通信速度が遅く、活用できない課題がある。

「ギガスクール構想の実現」に向けた校内通信ネットワーク整備事業

公正に個別最適化された学びを学校現場で持続的に実現させるため、児童生徒1人1台の端末を前提とした高速大容量の通信ネットワークを整備する。

また、各家庭へのタブレット持ち帰り学習を検討中で、家庭におけるWiFi環境を調査している。WiFi環境のない家庭には、モバイルルーターの貸出も検討しており、通信費は各家庭の負担となるが、国の補助事業で要保護世帯と準要保護（特別支援）世帯には年1万円の助成が行われる。

タブレット端末は、令和元年5月1日現在の学校基本調査の児童生徒数により419台を購入予定。1人1台の端末の環境が整うと、一人ひとりの教育ニーズや学習状況に応じた個別学習が可能になる。

新型コロナウイルス感染症の影響と対応

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、臨時休校や分散登校を実施した。臨時休校中はクラウド教材を活用したドリル問題を毎週郵送し家庭学習に活用したが、学習の遅れを取り戻せず、夏休み期間の短縮や今後の行事の見直し等を行っていく。

長期休業期間で生活リズムの乱れや各種行事の延期・中止等により、心身に不調をきたす児童生徒には、教職員によるケアのほか、北海道のスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー派遣事業を活用し、悩み相談や不登校への対応を行っている。

また、感染防止策として道教委から「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル『学校の新しい生活様式』」を踏まえた学校教育活動が示されており、身体的距離を1



タブレット端末を使い学習する児童

m確保するなど十分な感染対策を行ったうえで、学校教育活動を展開していく。

問 幕別町や音更町は、冬休みを削らないとしているが。

答 本町は、第2波やインフルエンザ等を考慮し、授業時数を確保するための措置をとる。

問 ソーシャルディスタンスは1m確保で大丈夫か。

答 卒業式や入学式は2m以上離れたが、すべて確保するのは難しい。地域の感染レベルが下がったことで1m確保とし、十分な感染対策を行っている。

※ICT（アイ・シー・ティ）通信技術を活用したコミュニケーションのこと。

※ギガ（ギガ）スクール構想 義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習用パソコンと高速ネットワーク環境などを整備する5年間の計画のこと。

産業常任委員会

委員長 渡辺富久馬 副委員長 浜野 隆

調査日 令和2年8月18日

新型コロナウイルス感染症の影響による

商工業支援の進捗状況

見た！
聞いた！



ひろお

常任委員会

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、町が行う施策と進捗状況については、次のとおり。

中小企業金融支援 対策

業績が悪化した事業者に対し、運転資金の融資、利子補給等を行い、資金繰りの支援をする対策事業。既存の広尾町中小企業融資規則の一部を改正した。7月31日現在、運転資金を新たに借入れ、その全額と保証料を補給する本制度の借入件数は67件、借入額が9億890万円である。

ひろお飲食店応援 クーポン

売り上げが減少する飲食業を営む事業者を支援するため、全町民に限定クーポンを配布し、飲食業を応援しながら、地域の経済対策に資することを目的とする。応募のあった38事業者を対象とし、8月3日現在、配布枚数6608枚のうち4773枚が利用され、利用率

は72・2%、21事業者に238万6500円が交付されている。

ひろお飲食店応援 プレミアムクーポン

「広尾町商工会」発行の本事業は、7月31日現在、販売枚数6000枚のうち3965枚が利用され、利用率は66・1%である。23事業者に198万2500円が交付され、幅広い飲食店で利用されている。

中小企業緊急支援 事業給付金

外出等の自粛要請に伴い売り上げが2割以上減少した中小企業に、上限30万円の給付金を支給し、事業の継続と雇用の確保を図ることを目的とする。申請期限の7月31日までに107事業者が2820万円を申請し、給付金を交付している。

上下水道使用料等の 減免状況(5月～7月分)

中小企業緊急支援事業給付金に係る上下水道使用料等の減免状況について、上水道使用料で146件77万円、下水道使用料で126件52万3710円、簡易水道使用料で4件2万9260円、個別排水使用料で4件1万6720円の減免を行っている。

広尾町地域振興 プレミアム付商品券

売り上げが減少する商工業者を支援するため、「広尾町商工会」が発行する商品券に対し町が補助することで、地域の経済対策に資することを目的とする。応募のあった137事業者を対象とし、8月4日現在、販売枚数20万8000枚のうち7万9600枚が利用され、89事業者に3980万円が交付されている。

問 中小企業緊急支援事業給付金の予算対比

は。 130事業所分の予算を計上したが、107事業所の申請・交付となつたことから、執行残が発生した。

問 前回実施のプレミアム付商品券事業は4日程度で完売したが、今回の日数は。

答 前回と支援内容が違う面もあり、19日間

答

で完売となった。



地域振興プレミアム付商品券の取扱店を知らせるポスターを掲示する町内の商店

次のページは「臨時会」

第4回臨時会

7/15

新型コロナ感染症対策

地域経済活性化へ

追加
支援



令和2年第4回臨時会が7月15日に開かれ、移動図書館車の財産取得及び補正予算の議案3件を審議。いずれも原案のとおり可決し、閉会しました。

補正予算

新生児特別定額給付金
400万円

漁業緊急支援事業給付金
4650万円

小中学校情報機器整備事業
3109万円

漁業緊急支援

問 1漁種当たり上限30万円としたのは。

答 十勝沿岸町の支援状況を参考に、本町の中小企業緊急支援事業給付金と同等の支援とした。

問 類の出荷量調整はないか。

答 新型コロナウィルスの影響を受けた月もあり、広尾漁協と協議し、1年間の水揚げではなく「任意の月」とし、出荷量が滞ることの無いようにしたい。

情報機器整備

問 学校教育でWi-Fi環境が整っていない世帯数は。モバイルルーターなど児童数に関係なく各校同じ台数なのはなぜか。

答 町内で約20世帯である。広尾市街地は環境整備が整っており、各校同数とした。

問 タブレット等を整備することで、リモート学習の環境が整うが、セキュリティ対策や自宅のパソコンを使用することは可能か。

答 タブレット等の貸出要綱を策定し、セキュリティ対策もする。使い慣れたパソコンを使用することも可能である。

行政報告

介護サービス費支給漏れ

高額医療合算介護サービス費の未支給が15人、総額95万8182円あった。(平成22年度分から令和元年度分まで)

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

国から追加交付が示され、主な緊急事業は次のとおりである。

◆新生児特別定額給付金
子育て世帯へさらなる支援として、4月28日以降に生まれた新生児にも1人10万円を支給する。(令和3年4月1日生まれまで)

◆漁業緊急支援事業給付金
新型コロナの影響により、本町で漁獲される水産物が急激かつ極端な価格低迷を受け、漁獲金額が減少した広尾漁業協同組合員に、持続的な水産業の振興と漁業活動の確保を図るため、緊急支援をする。

令和2年度 補正予算の内訳

一般会計①	78億3429万円	9021万円	↑
介護保険特別会計③	6億9688万円	95万円	↑

※会計名の後の丸数字は補正回数

(1万円未満切り捨て)

◆小中学校情報機器整備
オンライン学習ができるよう、貸出用のモバイルルーターやタブレット端末を各学校に整備する。

飲食店応援クーポン

「ひろお飲食店応援クーポン」の有効期限を9月30日まで2か月間延長する。(配布枚数6608枚のうち、利用枚数は586枚(利用率11.8%)。9月30日確定)

※高額医療合算介護サービス費

各医療保険における世帯内で、1年間の医療保険と介護保険の自己負担額を合算した額から世帯の負担限度額(年間)を差し引いた額を支給し、合計金額が高額な場合に、自己負担を軽減する制度。



第5回臨時会

8/5

令和2年第5回臨時会が8月5日に開かれ、損害賠償及び補正予算の議案3件を審議。いずれも原案のとおり可決し、閉会しました。

損害賠償の和解と賠償額

1月23日に発生した公用車の事故に伴う損害賠償の和解、賠償額が決定しました。

問 なぜ和解に至るまで長い期間を要したのか。



安全運転のためにも
公用車にドライブレコーダーを設置

答 損害額と補償額を保険会社等々で協議を行い、今回の時期となった。

問 免責金額や翌年の保険料はどのようになるのか。

答 双方の損害割合により保険から補償される。免責金額は無く、翌年の保険料は上がらない。

補正予算

公共施設サーマルカメラ

1781万円

非接触で発熱者を検出し、施設内感染や集団感染を未然に防ぐことができるサーマルカメラ（非接触体温測定カメラ）をひろお保育園、各小中学校、児童福祉会館及び国保病院など公共施設に固定型を設置、消防署等にはハンディ型を導入。

図書館ハワーアップ

3592万円

インターネットでの圖書の有無や貸出状況の確認など利便性の向上を図るため、WiFi環境と図書館システムを整備。

養護老人ホーム

無線通信環境
1155万円

入所者の呼び出し対応やタブレットを活用した職員の相互連絡・記録管理、入所者と家族がオンラインで面会できるようにWiFi環境を整備。

特別養護老人ホーム

見守り付コールシステム
2415万円

入所者のベッドにセンサーを設置し、入所者の状態と居室の環境が把握できる見守りセンサー及びコールシステムを整備。

新型コロナ対策事業（上記以外の主な事業）

事業名	事業費
町有林整備	1810万円
サンタランドメインツリーイルミネーション整備	536万円
牛舎消毒費用助成	465万円
選挙事務感染防止資機材整備	250万円

行政報告

国保病院医師の着任

内科医長の竹中芳子医師の後任に、旭川医大から磯崎翔太郎医師が派遣され、8月3日に着任した。

光回線ファイバ回線網の整備

本町の光ファイバ回線整備率は現在83・1%である。学校のリモート学習や新型コロナ感染症へ

対応するため、高速大容量の通信が可能な情報基盤の整備を、国の高度無線環境整備推進事業を活用し、農村など未整備地区に民営方式で整備する方向でNTT東日本と協議している。（総事業費約6億円）

令和2年度 補正予算の内訳

一般会計⑧	79億5757万円	1億2327万円	↑
介護サービス事業特別会計③	2億9625万円	2415万円	↑

※会計名の後の丸数字は補正回数

(1万円未満切り捨て)

議会のこと

教えて！さーたちちゃん



Q

議会の「定例会」と「臨時会」ってなに？



「定例会」は、広尾町では年4回と条例に定めてあり、3月、6月、9月、12月に招集されるんだよ。「臨時会」は、定例会以外で必要があるとき、特定のことに限って審議をするために臨時で招集される議会のことなんだよ。

次のページは
「議会日誌・ざがイトピックス」

議会活動日誌

令和2年9月～11月

【9月】

- 4日 第6回議会運営委員会
- 9日 第3回広尾町議会定例会（～17日）
第6回議員協議会
- 17日 第7回議員協議会
議会広報編集会議
- 29日 第1回議会モニター会議
南十勝複合事務組合議会定例会（大樹町）

【10月】

- 9日 南十勝町村議会議員研修会（大樹町）
- 15日 第4回総務常任委員会
- 27日 第8回議員協議会
第3回産業常任委員会

【11月】

- 5日 議会広報編集会議
- 6日 議案審査特別委員会（～13日）
- 13日 第6回広尾町議会臨時会
第9回議員協議会
第5回議会広報特別委員会

- 25日 第7回広尾町議会臨時会
第7回議会運営委員会
第10回議員協議会
- 26日 広尾高校生と議会議員のまちづくり懇談会
- 27日 とかち広域消防事務組合議会定例会（帯広市）
十勝圏複合事務組合議会定例会（帯広市）

閉会中の所管事務調査

各常任委員会と議会運営委員会は、令和2年第4回定例会までの閉会中に、次の所管事務調査を実施します。

◇総務常任委員会

- ① 養護老人ホーム及び特別養護老人ホームの運営状況について

◇産業常任委員会

- ① 林業・木材産業の成長産業化に向けた見通しについて

◇議会運営委員会

- ① 議会の運営に関する事項について
- ② 議会の基本条例、会議規則等に関する事項について
- ③ 議長との諮問に関する事項について

ぎがイトピックス

10/9 南十勝町村議会議員研修会に参加

南十勝町村議会議員研修会が大樹町の生涯学習センターで開催され、本町から9名の議員が参加しました。

今年は、新型コロナウイルス感染症による住民生活や地域経済への影響が懸念されていることから、帯広信用金庫地域経済振興部長の清水豊氏を講師に迎え、「十勝の経済情勢について」をテーマに講演をいただきました。

※議員から提出されたレポートは、町ウェブサイトに掲載しています。



広尾町議会から町民の皆様へお願いします

- ① 議場ではマスクを着用し、出入りの際には手指の消毒をしてください。
- ② 傍聴席では間隔をあけてご着席ください。
- ③ 体調が良くないときは、傍聴をお控えください。

※町ウェブサイトから議会中継を見ることができます。

過去の
録画中継も
見れるよ



町ウェブサイト
「議会インターネット中継」
QRコード